

## 平成 25 年度事業報告書 附属明細書

- 附属明細書 1 協力会員校等
- 附属明細書 2 主催セミナーに関する事項
- 附属明細書 3 留学生会館入居状況
- 附属明細書 4 留学生論文の表彰に関する事項



## 協力会員校等一覧

平成 26 年 3 月 31 日現在

No.	協力会員校等名称
1	筑波大学
2	埼玉大学
3	千葉大学
4	東京工業大学
5	東京外国語大学
6	東京学芸大学
7	東京農工大学
8	お茶の水女子大学
9	電気通信大学
10	一橋大学
11	横浜国立大学
12	国際教養大学
13	首都大学東京
14	千葉商科大学
15	青山学院大学
16	桜美林大学
17	大妻女子大学
18	慶応義塾大学
19	恵泉女学園大学
20	工学院大学
21	国際基督教大学
22	駒澤大学
23	芝浦工業大学
24	順天堂大学
25	上智大学
26	女子美術大学
27	成蹊大学

No.	協力会員校等名称
28	創価大学
29	中央大学
30	帝京大学
31	東京経済大学
32	東京工科大学
33	東京都市大学
34	東京理科大学
35	東洋大学
36	日本大学
37	日本女子大学
38	法政大学
39	明治大学
40	明星大学
41	ヤマザキ学園大学
42	立教大学
43	立正大学
44	早稲田大学
45	東洋英和女学院大学
46	防衛大学校
47	東京工業高等専門学校
48	白梅学園短期大学
49	日米会話学園 財)国際教育振興会
50	(株)ホームスクール 横浜ゼミナール
51	(株)スリーボンド
52	(財)日中技能者交流センター
53	幼体連スポーツクラブ

平成 25 年度事業報告主催セミナー事業

事業名	第 40 回国際学生セミナー														
期日	11 月 16 日～17 日（土～日）														
主題	新時代の東アジア国際関係——日米中、そして ASEAN——														
対象	大学生、留学生、社会人（八王子学園都市センター「いちょう塾」提供講座）														
趣旨	<p>本セミナーは、いまアジア・太平洋地域の国際政治の焦点になっている、東アジア、とりわけ東南アジア地域を舞台に繰り広げられている国際関係を大局的に考察するためのセミナーとして開講された。</p> <p>そのため、ともすれば「日中間の競争」や「アメリカの外交」といった一面的な分析にとどまらない、日・米・中、ASEAN それぞれの観点から、講師・学生また学生間で総合的・立体的な議論が交わされた。</p>														
講師・企画委員	<p>〈講師〉 渡邊昭夫（東京大学名誉教授）</p> <p>企画委員長 川島 真（東京大学大学院准教授）**</p> <p>大庭三枝（東京理科大学准教授）**</p> <p>清水一史（九州大学大学院教授）**</p> <p>中山俊宏（青山学院大学教授）**</p>														
定員	50 名														
参加者	28 名（留学生 7 名）														
アンケート結果	<p style="text-align: center;"><b>セミナー満足度</b></p> <table border="1"> <caption>セミナー満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	87%	やや満足	9%	やや不満	4%	不満	0%	わからない	0%	無回答	0%
満足度	割合														
満足	87%														
やや満足	9%														
やや不満	4%														
不満	0%														
わからない	0%														
無回答	0%														

(注) \*\*印は企画委員を兼ねた講師

事業名	第2回EUセミナー														
期日	9月20日～22日（金～日）														
主題	EU危機を越えて——ユーロ、連帯、ソーシャル・ヨーロッパ——														
対象	大学生、社会人														
趣旨	EU地中海沿岸諸国の財政危機は小康状態を見せたものの、キプロス銀行危機によって再燃化の懸念も強い。EU危機の行く末は不透明なままであるが、危機は通貨・財政面にとどまらない。EU統合の本質そのものが今問い直されている。本セミナーでは、そのような観点から通貨・財政と成長、EU内外における市民意識の醸成と社会政策分野での連帯、そしてエネルギー・外交安全保障政策・グローバルなEU内外での広義の連帯などをテーマに取り上げ、議論が交わされた。														
講師・企画委員	アルブレヒト・ロタハー(駐日欧州連合代表部政治経済部公使参事官) 渡邊啓貴(東京外国語大学大学院教授)** 小久保康之(東洋英和女学院大学教授)** 田中素香(中央大学教授・日本EU学会理事)** 蓮見雄(立正大学教授)** 押村高(青山学院大学教授)** 中西優美子(一橋大学大学院教授)** 福田耕治(早稲田大学政治経済学術院教授)**														
定員	70名														
参加者	73名														
アンケート結果	<p style="text-align: center;"><b>セミナー満足度</b></p> <table border="1"> <caption>セミナー満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	67%	やや満足	27%	やや不満	6%	不満	0%	わからない	0%	無回答	0%
満足度	割合														
満足	67%														
やや満足	27%														
やや不満	6%														
不満	0%														
わからない	0%														
無回答	0%														

(注) \*\*印は企画委員を兼ねた講師

事業名	第2回デジタルアートセミナー												
期日	10月5日～6日（土～日）												
主題	openFrameworks で学ぶクリエイティブ・コーディング												
対象	大学生、社会人												
	本セミナーは、実践的なクリエイティブ・コーディング環境として、デジタルアートを学ぶ美術大学の学生から、プロのアーティストやクリエイターまで、数多くの作品制作に使われる openFrameworks を学びたい初心者向けのワークショップから、すでに本格的な作品制作に利用しているプロのアーティスト・クリエイターにも役立つ実践的な内容までを学ぶものとして開講された。												
講師・企画委員	藤本直明（東京工芸大学非常勤講師）** 田所 淳（千葉商科大学非常勤講師） 神田 竜（サウンドアーティスト／プログラマー） 赤川智洋（アーティスト）												
定員	50名												
参加者	54名												
アンケート結果	<p style="text-align: center;"><b>セミナー満足度</b></p> <table border="1"> <caption>セミナー満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	76%	やや満足	18%	わからない	6%	やや不満	0%	不満	0%
満足度	割合												
満足	76%												
やや満足	18%												
わからない	6%												
やや不満	0%												
不満	0%												

(注) \*\*印は企画委員を兼ねた講師

事業名	第 54 回大学教員セミナー
期日	9 月 9 日～10 日（月～火）
主題	成長する大学教員〈1〉多忙感からの脱却をめざすには —— 教学経営とタイムマネジメント ——
対象	大学教員
趣旨	今、大学教員が行わねばならない改革対応関連業務は増え、かつ学問研究の高度化や日常的教育業務の複雑化の中、教員が本来行わねばならない教育・研究業務も増えこそすれ減ることはなく、教員の仕事量は明らかに増大の傾向にある。この事態を視野に、多忙感からの脱却を目指し、教員のタイムマネジメントのあり方について取り上げる。
講師・企画委員	〈講師〉清水一彦（筑波大学副学長） 山本眞一（桜美林大学大学院教授）* 上野 淳（首都大学東京副学長・教授）* 松塚ゆかり（一橋大学教授）* 杉谷祐美子（青山学院大学教授）*
定員	30 名
参加者	中止（申込み者 3 名）
アンケート結果	——（セミナー開催中止）——

（注）\*印は企画委員

事業名	第3回新任教員研修セミナー														
期日	9月2日～4日（月～水）														
対象	国公私立大学等で授業を担当する新任教員														
趣旨	<p>ユニバーサル・アクセスの時代を迎えた現在の大学には、シラバスの作成や実際の授業実施に際し、考慮すべき多くの困難が介在している。大学教員は毎日の授業の中で、20年前の教員には予想することも出来なかったような事態に直面し、当惑している。</p> <p>本セミナーでは（1）他大学・他分野の教員との交流を通して、ユニバーサル・アクセス時代の大学教員にふさわしい教育方法を構築するためのヒントを得ること、（2）前期（春学期）に実施した授業に対する学生による授業評価アンケートの結果を、後期（秋学期）における授業改善に活かす方策を見出すこと、（3）シラバスの活用方法についてのヒントを得ることを到達目標に、教員相互の研修というスタイルで活発な議論が行われた。</p>														
講師・企画委員	村山光子(明星大学学生サポートセンター長) 生田 茂 (大妻女子大学教授) ** 井下理 (慶應義塾大学教授) ** 荒木晶子 (桜美林大学教授) ** 菊地滋夫 (明星大学教授) ** 史 傑 (電気通信大学教授) **														
定員	50名														
参加者	37名														
アンケート結果	<p style="text-align: center;"><b>セミナー満足度</b></p> <table border="1"> <caption>セミナー満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	75%	やや満足	22%	不満	3%	やや不満	0%	わからない	0%	無回答	0%
満足度	割合														
満足	75%														
やや満足	22%														
不満	3%														
やや不満	0%														
わからない	0%														
無回答	0%														

(注) \*印は企画委員、 \*\*印は企画委員を兼ねた講師



事業名	第 28 回大学職員セミナー														
期日	6 月 29 日～30 日（土～日）														
主題	大学職員の挑戦と実践——企画立案実践のできる職員を目指して I ——														
趣旨	大学を取り巻く大きな環境変化に対応し、継続的な大学改革を行うには、大学職員の役割や業務の在り方にも変革が求められている。改革が進展している大学では教員との多彩な教職協働を展開しながら職員が大きな役割を果たしている。本年度 2 回実施の前篇の本セミナーでは、職員が起点となった大学改革の先進校で、いまなお進化を続けている立命館大学に焦点を当て、伝統的大規模大学において職員がその役割を果たし続けている基盤は何か、個々の政策形成において職員の企画立案力と実践力がどのように発揮されているかの報告やグループ議論を行った。														
講師・企画委員	西川幸穂（立命館大学人事部長） 浅田和伸（文部科学省課長） 横田利久（中央大学横浜山手改革推進室担当部長）* 山本眞一（桜美林大学大学院教授）* 近藤清之（法政大学入学センター部長）* 青木加奈子（東京経済大学学務部）*														
定員	50 名														
参加者	42 名														
アンケート結果	<p style="text-align: center;"><b>セミナー満足度</b></p> <table border="1"> <caption>セミナー満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	62%	やや満足	33%	やや不満	3%	無回答	2%	不満	0%	わからない	0%
満足度	割合														
満足	62%														
やや満足	33%														
やや不満	3%														
無回答	2%														
不満	0%														
わからない	0%														

(注) \*印は企画委員

事業名	第 29 回大学職員セミナー														
期日	11 月 29 日～30 日（金～土）														
主題	大学職員の挑戦と実践——企画立案実践のできる職員を目指してⅡ——														
趣旨	本年度 2 回実施の後篇の本セミナーでは、大規模伝統大学ながら「コンピテンシー自己評価プログラム」を全学導入し学生の就業力向上に取り組んでいる中央大学の外村幸雄キャリアセンター部長と、私立学校振興・共済事業団の私学経営情報センター長として長年経営指導・相談に当たり職員を鼓舞激励してこられ、現在は、大正大学人間学部の新設された教育・学校経営マネジメントコースで人材育成に当たっておられる山本雅淑教授に講演をお願いした。その後、その講演を踏まえ、企画立案実践のできる職員を目指したワークショップも行った。														
講師・企画委員	外村幸雄（中央大学キャリアセンター部長） 山本雅淑（大正大学人間学部教授） 横田利久（中央大学横浜山手改革推進室担当部長）* 山本眞一（桜美林大学大学院教授）* 近藤清之（法政大学入学センター部長）* 青木加奈子（東京経済大学学務部）*														
定員	50 名														
参加者	31 名														
アンケート結果	<p style="text-align: center;"><b>セミナー満足度</b></p> <table border="1"> <caption>アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	83%	やや満足	17%	やや不満	0%	不満	0%	わからない	0%	無回答	0%
満足度	割合														
満足	83%														
やや満足	17%														
やや不満	0%														
不満	0%														
わからない	0%														
無回答	0%														

(注) \*印は企画委員

事業名	第10回古代史セミナー												
期日	11月9日～10日（土～日）												
主題	日本古代史・新考—由自在（その6）—												
対象	一般 社会人 八王子学園都市センター「いちょう塾」提供講座												
趣旨	本セミナーは今回で10回を迎えた。講師の古田武彦氏の研究対象は日本古代史にとどまらない。近現代史や思想史、宗教論、そして国家論など多岐にわたる。幅広い専門をお持ちの古田氏にご自身の最新の研究成果を思う存分、自由自在に語っていただいた。												
講師・企画委員	古田武彦（歴史学者）** 萩上紘一（大妻女子大学学長）*												
定員	60名												
参加者	96名												
アンケート結果	<p style="text-align: center;"><b>セミナー満足度</b></p> <table border="1"> <caption>セミナー満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	91%	やや満足	9%	やや不満	0%	不満	0%	わからない	0%
満足度	割合												
満足	91%												
やや満足	9%												
やや不満	0%												
不満	0%												
わからない	0%												

(注) \*印は企画委員、 \*\*印は企画委員を兼ねた講師

事業名	第7回教員免許状更新講習																				
期日	7月31日～8月3日（水～土）																				
主題																					
趣旨	本セミナーは、4日間の短期集中講習により、免許状更新に必要な必修12時間・選択18時間の講習修了を可能とし、大学の現役／元教員による教育問題への真摯な講座提供と、受講する教員どうしの交流、ネットワークづくりをねらいとして開講された。																				
講師・企画委員	安田忠郎（教員免許更新センター長）** 高垣マユミ（実践女子大学教授） 蔦澤元晴（早稲田大学大学院客員教授） 小川彩子（元米国州立シンシナティ大学 UCBA 準教授） 山内芳文（筑波大学名誉教授） 吉田真史（東京都市大学教授） 山脇由貴子（東京都児童相談センター児童心理司）ーゲストスピーカーー																				
定員	70名																				
参加者	59名																				
アンケート結果	<p style="text-align: center;"><b>セミナー満足度(必修科目)</b></p> <table border="1"> <caption>セミナー満足度(必修科目)</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>だいたいよい</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>よい</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td>あまり十分でない</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>不十分</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"><b>セミナー満足度(選択科目)</b></p> <table border="1"> <caption>セミナー満足度(選択科目)</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>だいたいよい</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>よい</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td>あまり十分でない</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>不十分</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	だいたいよい	54%	よい	36%	あまり十分でない	8%	不十分	2%	満足度	割合	だいたいよい	54%	よい	36%	あまり十分でない	8%	不十分	2%
満足度	割合																				
だいたいよい	54%																				
よい	36%																				
あまり十分でない	8%																				
不十分	2%																				
満足度	割合																				
だいたいよい	54%																				
よい	36%																				
あまり十分でない	8%																				
不十分	2%																				

(注) \*\*印は企画委員を兼ねた講師

事業名	第 8 回教員免許状更新講習																				
期日	12 月 24 日～27 日（火～金）																				
主題																					
趣旨	本セミナーは、4 日間の短期集中講習により、免許状更新に必要な必修 12 時間・選択 18 時間の講習修了を可能とし、大学の現役／元教員による教育問題への真摯な講座提供と、受講する教員どうしの交流、ネットワークづくりをねらいとして開講された。																				
講師・企画委員	安田忠郎（教員免許更新センター長）** 高垣マユミ（津田塾大学教授） 蔦澤元晴（早稲田大学大学院客員教授） 小川彩子（元米国州立シンシナティ大学 UCBA 準教授） 山内芳文（筑波大学名誉教授） 吉田真史（東京都市大学教授） 山脇由貴子（東京都児童相談センター児童心理司）ーゲストスピーカーー																				
定員	70 名																				
参加者	55 名																				
アンケート結果	<p style="text-align: center;"><b>セミナー満足度(必修科目)</b></p> <table border="1"> <caption>セミナー満足度(必修科目)</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よい</td> <td>52%</td> </tr> <tr> <td>だいたいよい</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>あまり十分でない</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>不十分</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"><b>セミナー満足度(選択科目)</b></p> <table border="1"> <caption>セミナー満足度(選択科目)</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よい</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>だいたいよい</td> <td>46%</td> </tr> <tr> <td>あまり十分でない</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>不十分</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	よい	52%	だいたいよい	44%	あまり十分でない	4%	不十分	0%	満足度	割合	よい	50%	だいたいよい	46%	あまり十分でない	4%	不十分	0%
満足度	割合																				
よい	52%																				
だいたいよい	44%																				
あまり十分でない	4%																				
不十分	0%																				
満足度	割合																				
よい	50%																				
だいたいよい	46%																				
あまり十分でない	4%																				
不十分	0%																				

(注) \*\*印は企画委員を兼ねた講師

事業名	絵と物語セミナー（学生のための総合アートセミナー）												
期日	2014年2月8日～9日（土～日）												
主題	プロ作家と学ぶ絵本・児童文学												
対象	学生、社会人												
趣旨	本セミナーはただ学ぶだけでなく、絵本や児童文学の作家を目指す人たちが交流し、刺激を与えあい、共に高め合ってゆける合評合宿会。参加者は絵本と児童文学それぞれのコースに分かれ、プロの作家や編集者とともに互いの作品の合評を行う。また、宿泊の夜には作家によるパネルトークを交えたフォーラム懇親会を設け、2日目には里山環境豊かな多摩丘陵の樹木観察をしながら散歩する時間を設けている。												
講師・企画委員	<p>〈講師〉</p> <p>菅野雪虫（児童文学作家）  濱野京子（児童文学作家）  中谷靖彦（絵本作家）  やぎたみこ（絵本作家）</p> <p>〈チューター〉</p> <p>板谷ひさ子（編集者）  陣崎草子（絵本作家）**</p>												
定員	50名（児童文学Aコース15名、児童文学Bコース15名、絵本コース20名）												
参加者	37名（聴講1名）												
アンケート結果	<p style="text-align: center;"><b>セミナー満足度</b></p> <table border="1"> <caption>セミナー満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	78%	やや満足	18%	わからない	4%	やや不満	0%	不満	0%
満足度	割合												
満足	78%												
やや満足	18%												
わからない	4%												
やや不満	0%												
不満	0%												

(注) \*\*印は企画委員を兼ねている。

留学生会館入居状況

1. 平成 26 年 3 月現在入居状況

学校名	所 属			計	性別	
	大学院生 (研究生を含む)	学部生	客員研究員		男	女
国連大学	1			1	1	
首都大学東京	6			6	2	4
多摩美術大学		1		1	1	
中央大学	3		1	4	2	2
帝京大学		6		6	4	2
電気通信大学	1			1	1	
東京工科大学		2		2	2	
日本工学院専門学校		4		4	4	
合計	11	13	1	25	17	8

2. 国別留学生数

国名	計	大学院生	学部生	客員研究員
アメリカ	1		1	
イタリア	1	1		
韓国	3		3	
カンボジア	1		1	
ケニア	1		1	
中国	9	6	3	
中国台湾	4	1	2	1
フィリピン	1		1	
ポーランド	1	1		
マラウイ	1	1		
メキシコ	1	1		
ロシア	1	1		
合計	25	12	12	1

## 附属明細書 4

### 留学生論文の表彰に関する事項

留学生の日本語による論文作成能力を向上させる機会を提供するとともに、日本留学の成果を発信し、国際相互理解及び国際交流を促進することを目的に平成 21 年度から実施している。今年度は全国の大学から 75 の応募作品が寄せられ、下記のとおり 6 作品が入賞した。

1. 応募作品数：75 作品
2. 応募者内訳
  - (1) 大学数：54 大学
  - (2) 国籍：13 ヶ国 1 地域
3. 入賞作品一覧

賞	氏名	所属大学	国籍	論題
金賞	李 苑暉	早稲田大学	韓国	情報技術の発達による新たな地球的問題 －ネットナショナリズムとサイバー攻撃－
銀賞	RAMANANARIVO Mihary Fiderana	大阪大学	マダガスカル	マダガスカル人から見たアフリカの環境問題
銀賞	朱 世演	神田外語大学	韓国	シリアの難民問題 －国際社会の一員として責任を持って行こう－
銅賞	黄 捷琳	東京大学	台湾	グローバルな時代における生き方
銅賞	曹 臻	大阪大学	中国	グローバル時代の「世界人」 －海外在住の外国人のアイデンティティ問題－
銅賞	Roots Maia	東北大学	エストニア	婚外子に対する差別 －日本における嫡出子と非嫡出子の法的地位の平等化を中心に－